

◎ スキルがトツプの紳士

ばばだべー! JTサンダーズ 久原 大輝



久原 大輝

先日、2シーズンにわたって大黒柱としてチームをけん引してくれたアーロン・ラッセル選手が米国へ帰国した。

バレーボールに必要なスキルはどれをとっても世界トップクラス。そんなラッセル選手も昨季は、度重なるけがに見舞われ、コートに立てないつらさ、悔しさを感じていただろう。そんな場面でもチームのために率先してボールを拾

い、仲間へ声をかける姿に心を打たれた。

プレー以外にも、若手選手へ積極的にアドバイスを送り、チームが劣勢になりそうなきも鼓舞してくれ、存在の大きさを改めて実感した。常にファンを大切に考え、試合終了後のファンサービスも最後まで残り、丁寧に対応していた。少し余談だが、サーブ前にボールを受け取る際にも、毎回「ありがとうございます」と日本語でお礼を言っていた。どこを見ても、ジエントルマンだ。

2月には待望の第1子が誕生。「子育てで寝不足だ」と笑っていたが、その週のVC

長野戦の勝利後に、ゆりかごダンスで祝福できたのも良い思い出の一つ。これからもラッセル選手のファンとして、彼が躍動する姿を楽しみにしたい。



ガッツポーズを見せるラッセル選手(3月2日)

ありがとう、ロン。
(JT広島マネジャ